INAX

保証書付

「定期点検情報掲載」

このQRコードは
メーカー管理用です。

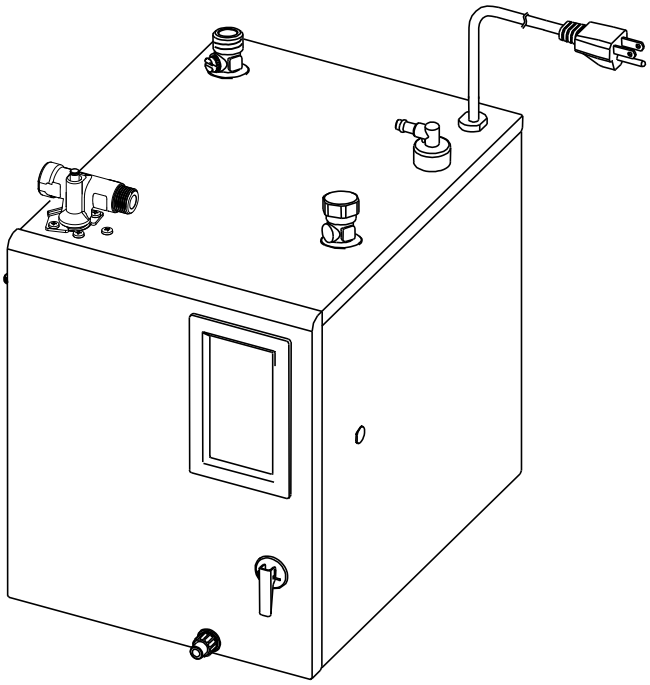
小型電気温水器（先止め式）

品番
EHPN-CA8ECS2
EHPN-CB8ECS2

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
※保証書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合修理が有料となる場合があります。
※転居される場合、次に入居される方に、この説明書と保証書をお渡しください。



工事店様へのお願い

貴店名ならびに引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

もくじ

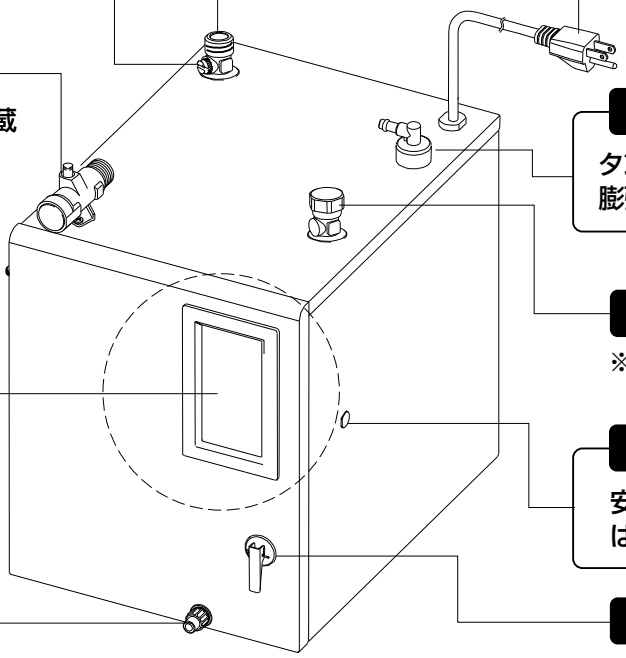
■各部のなまえ……1
■安全上のご注意……3
■ご使用前の注意事項……6
■ご使用方法……8

■日常の点検……12
■定期的な部品点検のお願い……14
■冬季凍結の恐れがある場合……14
■長期間使用しない場合……15

■故障かなと思ったら……16
■アフターサービスについて……18
■仕様……19
■保証書……裏表紙
■問い合わせ先……裏表紙

各部のなまえ

機器本体



エアチャージ栓
機器内の水抜き時に外して、
機器内に空気を入れます。

出湯口

電源プラグ

給水口
※逆止弁付、ストレーナー内蔵

膨張水口
タンク内であたためられて
膨張した水を排出します。

同圧給水口
※閉止キャップ付（工場出荷時）

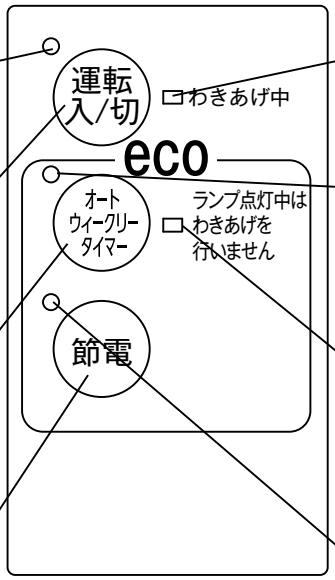
操作部

リセットカバー
安全装置のリセット時に
はずします。

水抜栓
機器内の水抜き時に、
栓をゆるめて水を排出します。

逃し弁

操作部



運転LED
運転の「入」時に点灯します。

運転スイッチ
機器の運転の入/切を行います。

オートウィークリータイマースイッチ
オートウィークリータイマー運転の
入/切を行います。

節電スイッチ
節電運転の
入/切を行います。

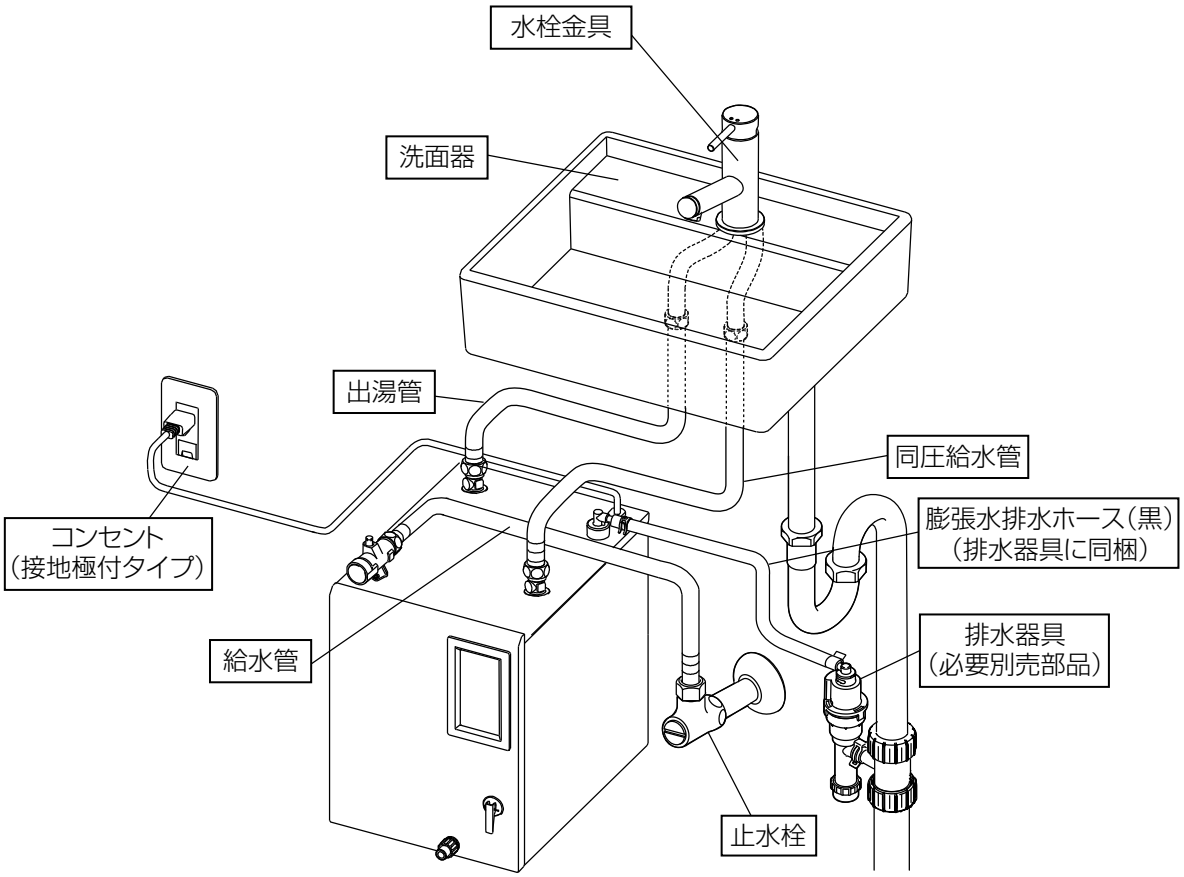
わきあげ中 LED
ヒーター通電時に点灯します。
それ以外は消灯します。

オートウィークリータイマーLED
オートウィークリータイマー運転の
「入」時に点灯します。

エコLED
オートウィークリータイマー運転中、
学習状況によりわきあげを
行わない時点灯します。

節電LED
節電運転の「入」時に点灯します。

配管図例（混合水栓の場合）



オートウィークリータイマー・節電運転について

オートウィークリータイマー・節電共通

1　使用頻度が低い時間帯はわきあげ温度を下げて節電

使用が少ない時間帯を学習して、使用頻度が低い時間帯はわきあげ温度を下げて節電します。

※お湯の使用量を学習し、30 分単位で最適な保温温度に自動的にコントロールします。

オートウィークリータイマーのみ

2　お湯を使わない夜間・休日はヒーターOFF して節電

お湯を使用しない時間帯（夜間・休日など）を学習して自動的にヒーターをOFF して節電します。

オートウィークリータイマーのみ

3　お湯を使わない季節はヒーターOFF して節電

水温を学習することにより、お湯を使用しない夏場などに自動的にヒーターOFF して節電します。

※給水温度が約20℃程度になると作動します。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語の説明

⚠ 警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合。

⚠ 注意 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合。

記号の説明

⚠ 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

禁止 「してはいけません」(一般的な禁止記号です)

指示実行 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です)

分解禁止 「分解してはいけません!」

「必ずアースを接続しなさい」

「電源プラグを抜きなさい」

⚠ 警告

禁止	**ぬれ手に注意** 電源プラグはぬれた手で絶対に触らないでください。 ※感電の恐れがあります。
禁止	**水かかり厳禁** ○屋外に設置しないでください。 ○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる場所 特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 ○機器に水をかけたり、機器上部に濡れたものや洗剤等を置いたりしないでください。 ※機器内部に液体が入りこんで、機器の故障、火災や感電の原因となります。
分解禁止	**分解禁止** 修理技術者以外の人は、絶対に分解･修理は行わないでください。 ※火災や感電の原因となります。
禁止	**機器の改造禁止** ○内部配線や電源コードの切断･圧着は絶対に行わないでください。 ○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せずに専用補修部品と交換してください。 ※火災や感電の原因となります。

警告	
	アースの接続 ○設置場所の分電盤等に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。 ○アースが必ず接続されていることを確認してください。 ※アース工事がされていない場合や不完全な場合は、感電する恐れがあります。
 指示実行	**機器のコンセント** 機器用に設置するコンセントは「接地極付コンセント」をご使用ください。 対応するコンセント形状は100V、200V で異なりますので、使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適したコンセントをご使用ください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。 ※火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。
 指示実行	**ブレーカー作動時の使用中止** 本機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。 ※本機器に異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。
 指示実行	**機器使用の条件** 使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。 ※適していない電圧や配線に接続すると火災の危険性があります。
	機器使用の条件 雷の音が聞こえる場合には使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ※感電の原因となります。
 指示実行	**電源プラグは確実に差し込む** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。 ※火災の原因となります。
 禁止	**電源コードを傷めない** 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。 ※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
 指示実行	**電源プラグのお手入れを** 半年に１回程度は電源プラグを抜き、ホコリを除去してください。 ※火災の原因となります。
 禁止	**機器使用の条件** この機器は水道水以外の水(水道事業体が供給する上水以外)での使用はできません。 ※早期に機器が損傷し、感電・漏水の原因となります。

⚠ 注意

禁止	**機器使用の条件** ○この機器は車両、船舶での使用はできません。 ○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。 ※機器の故障だけでなく、漏電、漏水などの恐れがあります。 ○この機器は日本向けです。国外での使用はできません。
指示実行	**機器使用の条件** この機器は給水圧力0.1MPa(流動時)～0.75MPa(静止時) までの範囲でご使用ください。 ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時にタンク内の圧力が高くなり、膨張水口から水が噴き出し続ける恐れがあります。
指示実行	**膨張水排水ホース(黒)の接続** 膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)の接続が確実に行われているか必ず確認してください。 ※漏水の恐れがあります。
指示実行	**飲用注意** 機器内に長期間滞留していた水は、飲用に用いず雑用水としてお使いください。 ※長期間滞留していた水となる目安:1日の手洗い人数が40人以下の場合
禁止	**空だき禁止** 機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。 ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
指示実行	**凍結予防** 凍結の恐れがある場合は、機器内の水抜きを行ってください。 ※機器が凍結破損し、漏水する恐れがあります。
指示実行	**機器使用上の注意** 排水器具の下流側の排水管が詰まらないようにしてください。 ※排水不良となり、漏水の恐れがあります。

ご承知おきいただきたいこと

本機器は、貯湯式です。
タンク内のお湯を使い切ると、次の湯がわきあがるまで以下の時間が必要です。

製品品番	わきあげ時間	標準出湯量※1
EHPN-CA8ECS2	約30分(15→75℃)	約21L
EHPN-CB8ECS2	約22分(15→75℃)	

※1 水温15℃、出湯温度36℃の、出湯量4L/分の標準条件で一度に使用できる湯量

ご使用前の注意事項

確認1.　接地極付コンセントが取り付けられていますか?

品番	定格電圧	定格消費電力	対応コンセント形状
EHPN-CA8ECS2	AC100V	1,100W	
EHPN-CB8ECS2	単相200V	1,500W	

⚠ 警告

○接地極のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付け替えてください。
○分電盤に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
※故障や、感電･火災の原因になります。

確認2.　電源プラグはコンセントから抜いていますか?

電源プラグがコンセントに接続されていれば抜きます。

⚠ 注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、
電源プラグを差し込まないでください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。

タンクへの給水手順

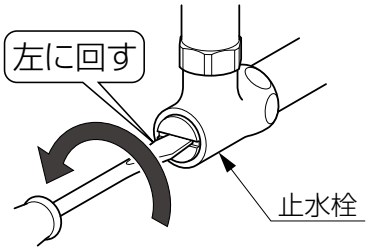
⚠ 注意

機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。
※機器の破損やヤケドの恐れがあります。

①水抜き栓、エアチャージ栓が閉まっていることを確認する。

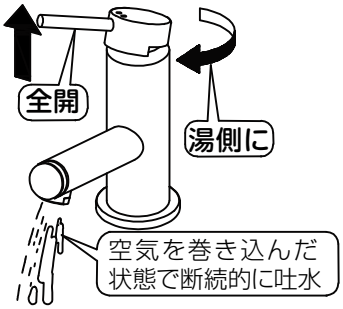
②止水栓を開ける。

③水栓金具の湯側を全開にして吐水する。

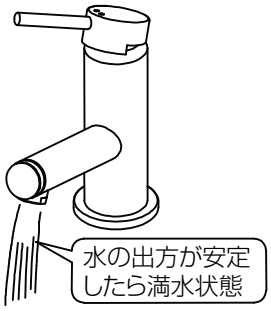


水の出方が安定するまで続けてください

＜満水になっていない状態＞



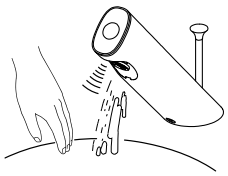
＜満水の状態＞



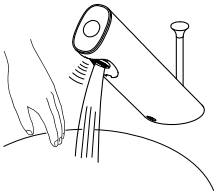
タンクが満水になるまで
約5分かかります。

自動水栓の場合

＜満水になっていない状態＞



＜満水の状態＞



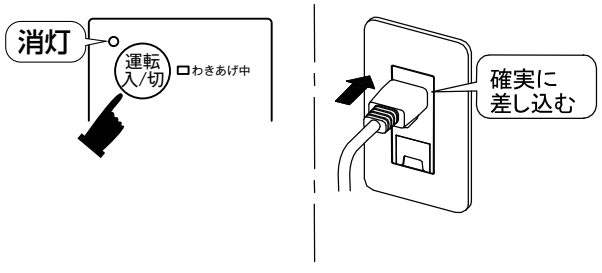
吐水口の下に手をかざし
続けてください。
止水したら、再度手をかざし
吐水が安定するまで続けて
ください。

●湯水切替タイプの自動水栓の場合、必ず湯側で通水してください。
※機器に給水されず空だきの原因になります。

④止水栓で流量を調整する。
洗面器から水ハネしたり、オーバーフローしたりしないように調整します。
⑤(混合水栓の場合)水栓金具の水側についても同様の操作を行う。
⑥水栓金具を閉め、配管各部に漏れがないか確認する。
⑦電源プラグをコンセントへ差し込む。

⚠ 注意

電源プラグはコンセントに根元まで
確実に差し込んでください。
※火災の原因になります。

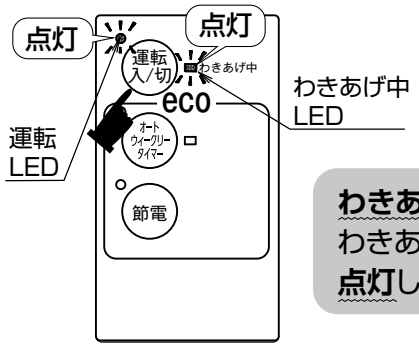


⑧運転LED が消灯していることを確認する。
点灯している場合は、運転スイッチを「切」にします。

ご使用方法

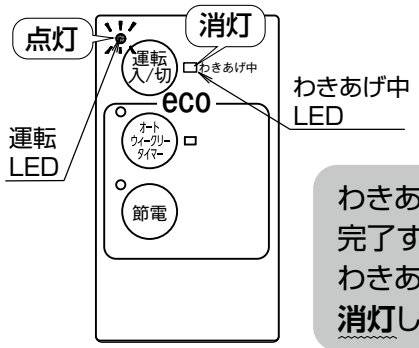
お湯をわかす

●運転スイッチを「入」にする。
運転LEDが点灯し、わきあげが始まります。



わきあげ中は
わきあげ中LEDが
点灯します。

●わきあげが完了したら、お湯が使える状態になる。



わきあげが
完了すると
わきあげ中LEDが
消灯します。

⚠ 注意

混合水栓との組合せ時に、湯を使用する際は必ず水を出してから、湯を出して温度を調節してください。
閉める時は、必ず湯側を先に閉めてください。
※ヤケドの恐れがあります。

●お湯を使用してタンク内の湯温が下がると、再びわきあげが始まる。
再びわきあげ中LED が点灯します。わきあげが完了したらわきあげ中LED は消灯します。

■日常の使用

●湯を使用する時期は運転スイッチを「入」のままにする。
●1 週間以上使用しない場合や、夏場で湯が不要な場合は運転スイッチを「切」にする。
再度使用を始める前に、タンク容量の2倍 程度通水し、タンク内の水を入れ替えてから運転スイッチを「入」にする。
※オートウィークリータイマー設定時は、夏場などは水温を自動検知し、ヒーターを自動的にOFF にするので、運転スイッチを「切」にする必要はありません。

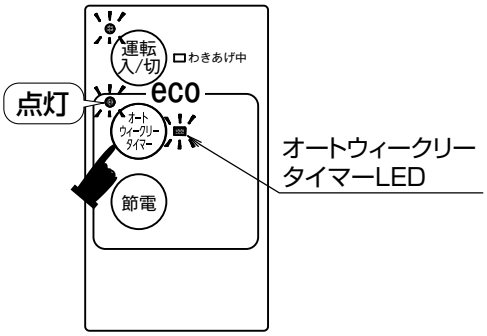
オートウィークリータイマー機能

①使用頻度が低い時間帯を学習して、わきあげ温度を下げて節電します。
②お湯を使わない休日や夜間を学習して、ヒーターを自動的にOFF して節電します。
③お湯が必要ない季節(夏場など)は、水温を自動検知し、ヒーターを自動的にOFF して節電します。

■オートウィークリータイマーを設定する

●(オートウィークリータイマー)を押す。

「オートウィークリータイマーLED」が点灯します。



○ご使用開始時は、節電運転スイッチを押してから3週間は使用頻度・給水温度を学習します。学習期間中は設定温度どおりのわきあがり温度設定になります。
○上記期間内にオートウィークリータイマーを終了すると、学習内容は記憶されません。

●学習が完了すると、オートウィークリータイマー状態に入る。

通常の状態

使用頻度が低い、お湯を使わない時間帯または水温が高い場合でヒーターを自動的にOFF している状態

○使用状況が大幅に変化した場合(お店の営業時間・定休日が変更された等)
オートウィークリータイマー運転していることにより、湯切れをする可能性があります。この場合は、学習内容をリセットしてください。(10ページ『学習内容のリセット』参照)

■オートウィークリータイマーを解除する

●(オートウィークリータイマー)を押す。

「オートウィークリータイマーLED」が消灯します。

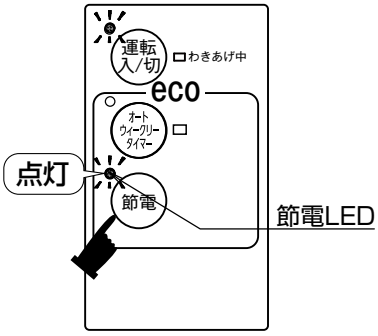
節電機能

①使用頻度が低い時間帯を学習して、わきあげ温度を下げて節電します。

■節電を設定する

●(節電)を押す。

「節電LED」が点灯します。



○ご使用開始時は、節電運転スイッチを押してから3週間は使用頻度・給水温度を学習します。学習期間中は設定温度どおりのわきあがり温度設定になります。
○上記期間内に節電運転を終了すると、学習内容は記憶されません。

●学習が完了すると、節電状態に入る。

○使用状況が大幅に変化した場合（お店の営業時間・定休日が変更された等）
節電運転していることにより、湯切れする可能性があります。この場合は、学習内容をリセットしてください。
（10ページ『学習内容のリセット』参照）

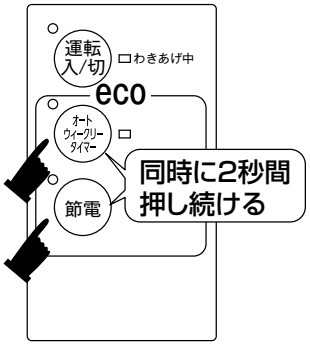
■節電を解除する

●(節電)を押す。

「節電LED」が消灯します。

学習内容のリセット

節電機能及びオートウィークリータイマー機能の学習内容（お湯の使用頻度と水温）をリセットします。
※リセット後、再度学習する3週間は設定温度で運転を行います。
3週間後から、節電、オートウィークリータイマーそれぞれの運転に入ります。

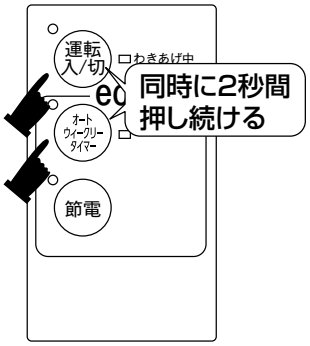


●(オートウィークリータイマー)と(節電)を同時に2秒以上押し続ける。

リセット完了後、ブザー音が2秒間鳴ります。

チャイルドロック

■チャイルドロックを設定する



●(運転 入/切)と(オートウィークリータイマー)を同時に2秒以上押し続ける。

設定完了後、ブザー音が3回鳴ります。
チャイルドロック設定時は、【運転 入/切】以外の操作がロックされます。

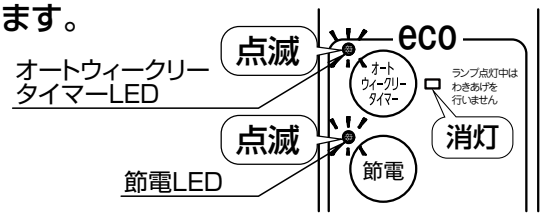
■チャイルドロックを解除する

●(運転 入/切)と(オートウィークリータイマー)とを同時に2秒以上押し続ける。

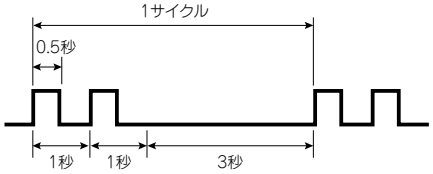
解除完了後、ブザー音が3回鳴ります。

安全装置のリセット方法

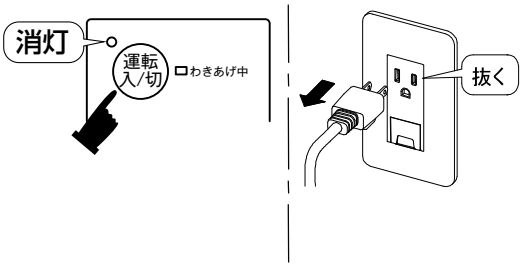
オートウィークリータイマーLEDと節電LEDが同時に2回点滅を繰り返し、お湯がわきあがらない場合、空だき等の原因で安全装置が作動した可能性があります。
下記の手順に従って安全装置をリセットしてください。



（参考）2回点滅は下図のようなサイクルで点滅します。



①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
※電源プラグを抜く前に運転スイッチを「切」にしてください。

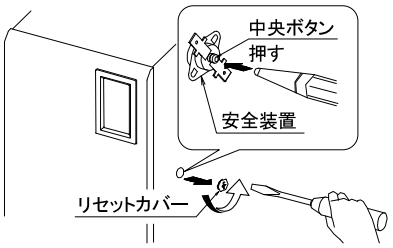


⚠ 注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
※感電の恐れがあります。

②タンクへ給水されているか確認する。
されていない場合、7ページ「タンクへの給水手順」に従い、給水する。

③リセットカバーをドライバーで取り外し、安全装置の中央ボタンを押す。
ボールペンの先などで、安全装置の中央ボタンを押します。



④取外しと逆の手順でドライバーを用いリセットカバーを取り付ける。
取付後、リセットカバーが取り付いていることを確認してください。

【取外し時、取付け時の注意】
取外し時：リセットカバーを半時計方向に回すと、約1回転で外れます。
取付け時：リセットカバーを時計方向に回すと、約1回転で取り付きます。
※リセットカバーの締め込みすぎに注意してください。

再使用後、再び安全装置が作動した場合は、機器の使用を中止し、すみやかに 販売店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

日常の点検

⚠ 注意

必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
※感電の恐れがあります。

つぎのものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※機器の変色や破損の原因になります。

機器回りの漏水点検（日常）

機器、各配管とその接続部分は、長期間の使用により漏水する場合があります。接続部分や機器の下面から漏水していないか日常的に点検してください。
漏水を発見した場合は、すぐに止水栓を閉め、お買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

機器周りの環境（日常）

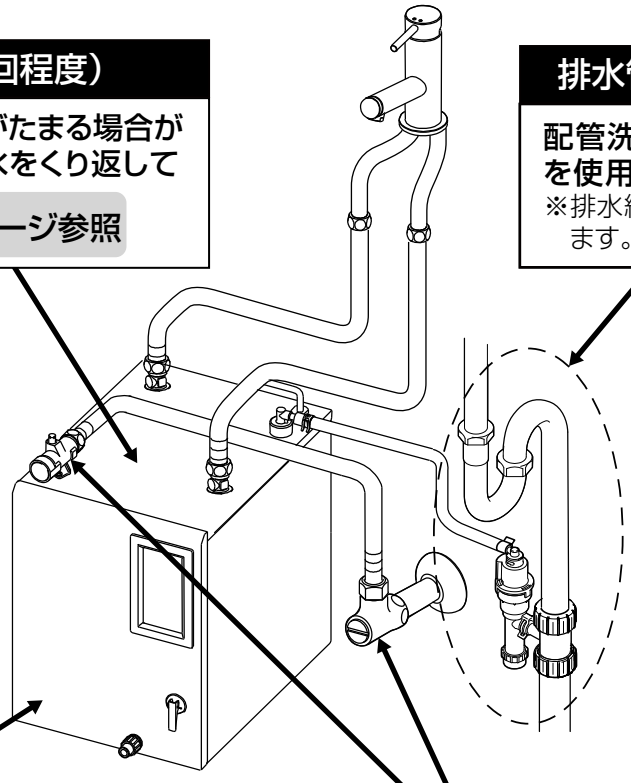
機器上部にぬれたものや洗剤等が置かれていないか確認してください。
置かれている場合は、ただちに取り除いてください。

タンク内のお掃除（年1 回程度）

長期間の使用でタンク内に汚れがたまる場合があります。機器内の水抜きと給水をくり返して清掃してください。
7、14 ページ参照

排水管のお掃除（月1回程度）

配管洗浄剤やパイプ洗浄用ブラシを使用して清掃をしてください。
※排水経路がつまり、漏水の恐れがあります。



機器のお掃除（日常）

通常は乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた中性洗剤をしみこませた布でふき取ってください。
また洗剤は確実にふきとってください。
※給湯配管まわりをお手入れする場合は、配管を冷やしてから行ってください。ヤケドの原因になります。
※ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等は使用しないでください。キズつきの原因になります。

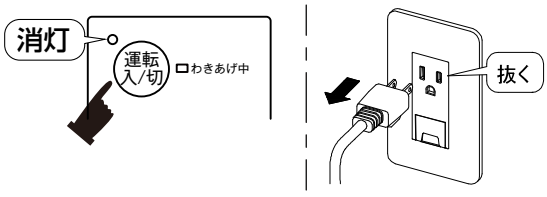
ストレーナーのお掃除（湯量が少なくなったら）

機器の設置初期や長期間使用している間に配管内を流れてきたゴミがストレーナーに詰まって湯や水の出が悪くなることがあります。
湯や水の出が悪くなったらストレーナーの掃除を行ってください。
13 ページ参照

ストレーナーの掃除方法(湯量が少なくなったら)

機器の設置初期や、長期間使用している間に、配管内を流れてきたゴミがストレーナーに詰まって湯や水の出が悪くなることがあります。湯や水の出が悪くなったら、ストレーナーの掃除を行ってください。

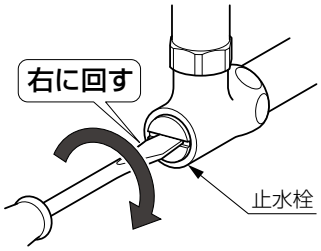
①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。



⚠ 注意

必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
※感電の恐れがあります。

②止水栓を閉める。

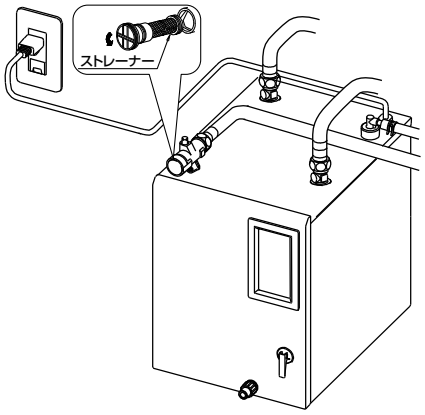


⚠ 注意

必ず止水栓を閉めてください。
※漏水の恐れがあります。

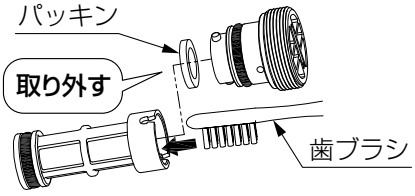
③マイナスドライバー等を使用してストレーナーを取り外す。

少量の水がこぼれるので、取外し部にタオル等をあてがいながら、ストレーナーを取り外します。



④ストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシ等で取り除き、水洗いする。

ゴミはストレーナー内部にたまるので、内部の網目に詰まったゴミを歯ブラシ等で取り除き、水洗いします。
※パッキンは必ず元通りに取り付けてください。
機器内へゴミが侵入する原因になります。

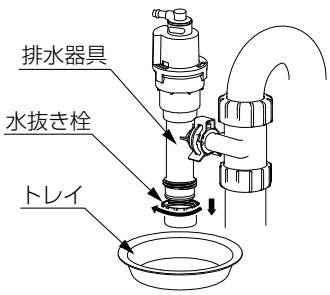


掃除完了後、ストレーナーは確実に取り付け、 6ページからの「ご使用前の注意事項」にしたがって通水し、水漏れのないことを確認してください。
※不明な点がありましたら、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。有料にて掃除いたします。

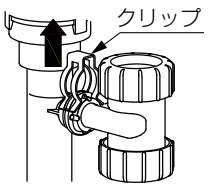
排水器具の掃除方法

排水経路が詰まると漏水の恐れがあるので、定期的に排水器具の掃除を行ってください。

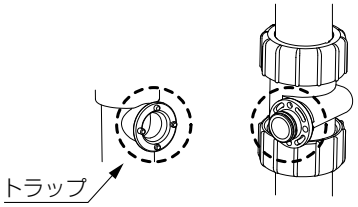
①排水器具の水を抜く。



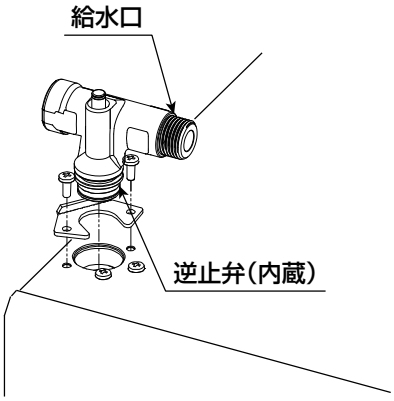
②クリップを外し、トラップを取り外す。



③トラップ内部、トラップ出口のゴミをブラシ等で取り除く。



定期的な部品点検のお願い



●部品点検について

給水用具（逆流防止装置）を内蔵している機器は安全・快適にお使いいただくために、 社団法人日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づき、4～6 年に1回程度の点検を受けることをお勧めします。

●摩耗･劣化する部品交換について

部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。
•交換の目安 ： 4～6年
•摩耗・劣化する部品の例 ： 減圧弁、逃し弁、パッキン、Oリング、電装品など

点検・交換は販売店またはLIXIL 修理受付センターにご相談ください。

冬季凍結の恐れがある場合

積雪の多い地方だけでなく、暖かい地域でも思いもよらぬ冷え込みで凍結事故が発生する場合があります。凍結する恐れがある場合は水抜きをしてください。

⚠ 注意

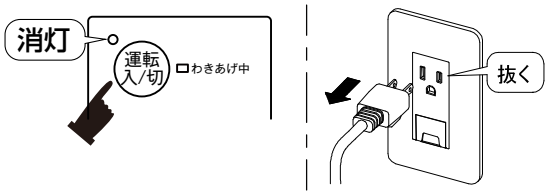
室温が0℃以下になると考えられるときは、機器の水抜きを行ってください。
水抜きを行う前に、空だき防止のため、運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
※機器の漏水や破損の原因になります。

機器内の水抜き方法

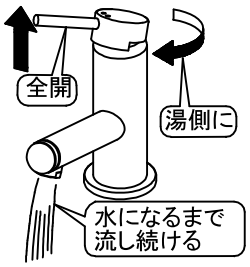
長期間、機器の使用をしない場合（特にその間に凍結の恐れがある場合は必ず）
下記の手順にしたがって、機器および排水器具の水抜きを行ってください。

■機器内の水抜き

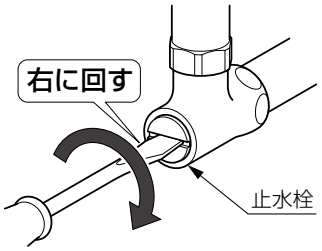
①運転スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜く。



②水栓金具の湯側を全開にし、吐水が水になるまで流し続ける。



③水栓金具を開けたまま止水栓を閉める。



⚠ 注意

機器内のお湯を出し切ってください。
※機器内にお湯が残っていると水抜き時ヤケドの恐れがあります。

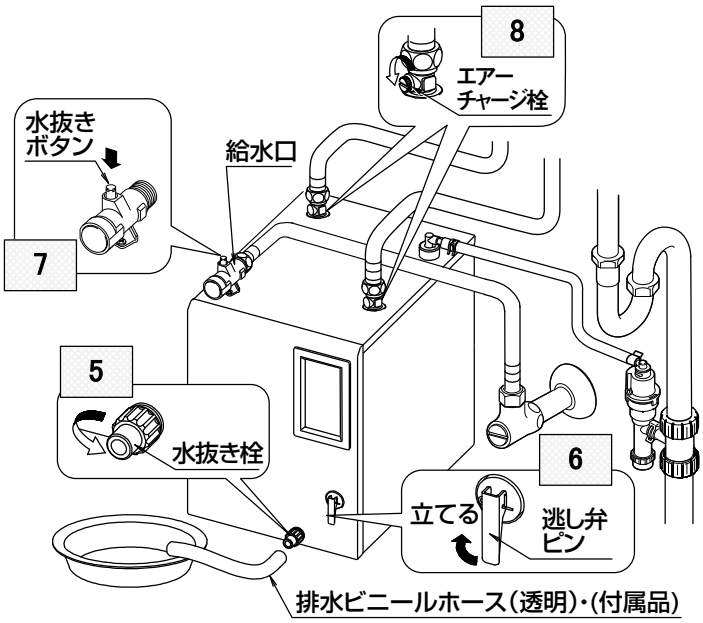
④付属の排水用ビニールホース（透明）の端部を
水抜き栓に差し込み、反対側はトレイ等で受ける。
⑤水抜き栓を開ける。
水抜き栓を左に回します。
固くて回しにくい場合は、ペンチ等を使用してください。

⚠ 注意

必ず機器内が水になっていることを
確認してから水抜き栓を開けてください。
※高温の湯でヤケドの恐れがあります。

⑥逃し弁のピンを立てる。
⑦給水口の水抜きボタンを押す。
⑧エアチャージ栓を開け、排水する。

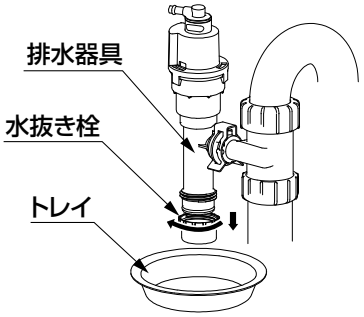
水抜き栓を開けてからエアチャージ栓を開けてください。
※水抜き栓を閉めた状態でエアチャージ栓を
開けると、エアチャージ栓から水が出てきます。



⑨水抜き栓、エアチャージ栓、逃し弁のピンを元にもどす。

■排水器具の水抜き

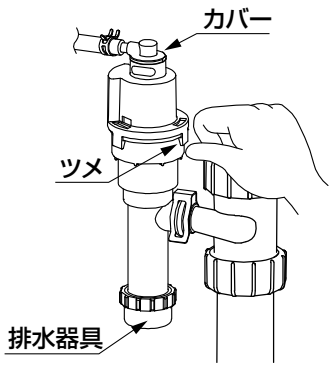
排水器具の水抜き栓を開ける。
・水抜き前には、排水器具下部に水を受けるトレイ等を
準備してください。
・水抜き後には、必ず水抜き栓を取り付けてください。



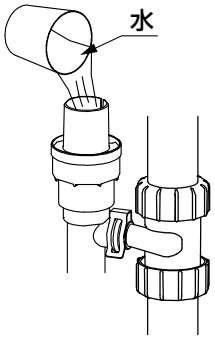
長期間使用しない場合

①機器内の水抜き方法（14ページ）に従い、機器内の水を抜いてください。
②定期的に、排水器具内のトラップ部に水を補給してください。
※機器の電源を切ると、排水器具内のトラップ部が封水切れを起こし、臭気が発生することがあります。

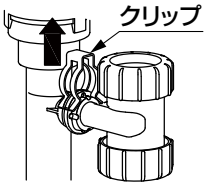
【トラップ部への水の補給手順】
①排水器具のカバーを取り外す。



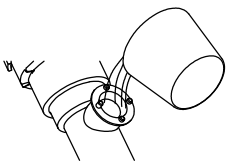
②コップ等でトラップ部に
水を補給する。



■排水器具上部にスペースがなく、カバーを取り外せない場合
①クリップを外し、
トラップを取り外す。



②コップ等でトラップ部に
水を補給する。



停電時の対応

停電後、または電源プラグをコンセントから抜いた後、学習内容が約8時間の間記憶されますが、8時間経過後は学習内容がリセットされます。

故障かなとおもったら

故障かなと思ったら、まずは下記項目をご覧になり、処置方法を試してみてください。
確認しても故障が直らない場合は、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は、絶対に分解、改造は行わないでください。
※火災や感電の原因になります。

お湯が出ない、お湯にならない、お湯がぬるい

原因	処置方法
止水栓を開いていますか?	止水栓を開けてください。
元電源は入っていますか?	分電盤のブレーカーを「入」にしてください。
分電盤のブレーカーが作動していませんか?	機器の使用を中止し、販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
電源プラグは確実に差し込まれていますか?	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
空だきして安全装置が働いていませんか?	安全装置をリセットしてください。11 ページ
運転スイッチが「切」になっていませんか?	運転スイッチを「入」にしてください。8 ページ
節電 LEDが点灯していませんか?	節電機能が作動し、湯の使用頻度が低い時はわきあがり温度を下げて節電運転をしています。
オートウィークリータイマー LEDが点灯していませんか?	オートウィークリータイマー機能が作動し、湯の使用頻度が高い時、湯を使用しない時間帯はヒーター通電をOFF しています。すぐにお湯を使いたい場合はオートウィークリータイマー機能を解除してください。9ページ

流量が少ない

原因	処置方法
止水栓が十分に開かれていますか?	止水栓を開けてください。7 ページ
断水していませんか?	断水の確認をしてください。
機器のストレーナーが詰まっていませんか?	ストレーナーを掃除してください。13 ページ
水栓金具の吐水口が詰まっていませんか?	水栓金具の吐水口を掃除してください。

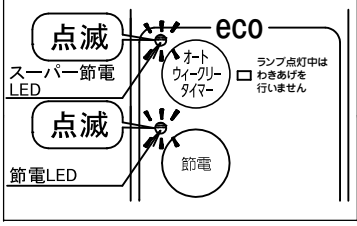
漏水している

原因	処置方法
電気温水器本体から漏水していますか?	販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。
配管接続部から漏水していますか?	締め直すことができる部分は締め直してください。それ以外は止水栓を閉め、修理依頼をしてください。
排水管が詰まっていませんか?	排水経路が詰まっていると、排水器具から漏水の恐れがあります。排水管を定期的に掃除してください。12 ページ

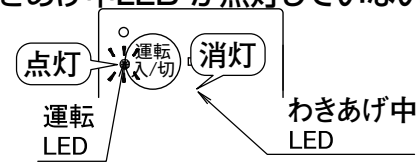
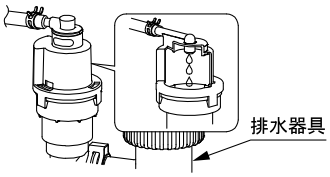
お湯が汚れている

原因	処置方法
タンク内が汚れていませんか?	タンク内を掃除してください。12 ページ

■エラー表示について

状態		処置方法
	2回同時点滅	空だきした可能性があります。 まずはタンクへの給水を行ってください。 それでも作動しない場合は安全装置をリセットしてください。11ページ
	2回以上 同時点滅	販売店またはLIXIL 修理受付センターへご相談ください。

次の場合は故障ではありません

こんなときは	理　由
運転スイッチを「入」にしているのにわきあげ中LED が点灯していない。 	タンク内の水がわきあがると、ヒーターの通電を停止するため、わきあげ中LED が消灯します。 タンク内の湯温が下がると、ヒーターの通電を開始するためわきあげ中LED が点灯します。 8 ページ参照
運転スイッチを「入」にしたときに排水器具からポタポタと水が出る。 	タンク内の水は温められると、膨張して体積が増えます。その膨張した水を排水器具から排出しており、異常ではありません。
お湯の量が少ない。	本機器は、タンク破損防止のために減圧弁を内蔵し、水圧を下げています。
熱いお湯が出ない。	タンク内でわきあげた高温のお湯と給水される水を混合して約36℃(31～43℃)に調整する安全サーモスタットを内蔵しているからです。
お湯の温度が低くなる。	タンク内のお湯がなくなったためと考えられます。お湯がなくなると、再度水のわかしあげに時間がかかります。 5 ページ参照
再使用時にお湯の温度が一瞬低くなるまたは高くなる場合がある。	内蔵している安全サーモスタットの温度調整に若干時間がかかるからです。
出てくるお湯ににおいがする。	水道水中に含まれるにおい成分(カルキ臭)などが加熱され、においが感じられることがあります。使い始めはプラスチックのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。
混合水栓の水側を開いたときにあたたかい水が出る。	タンク内の水をわかしあげる際に、給水配管の水に若干熱が伝わるからです。
本体が熱くなっている。	通常機器外装部の表面温度は、約50℃程度まで上昇します。
機器から異音がする。	お湯のわきあがり近くになると、機器内部からお湯がわいている音がする場合がありますが、異常ではありません。
わきあげ中LEDが点灯しているのにお湯が出ない。	わきあげ中もしくは安全装置が作動しています。安全装置作動時はリセットしてください。

上記処置で不明な点がございましたら、取扱店または当社お客さま相談センターへご相談ください。
修理のご依頼が必要な場合はLIXIL 修理受付センターにご連絡ください。
TEL 0120-179-411　FAX 0120-179-456

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

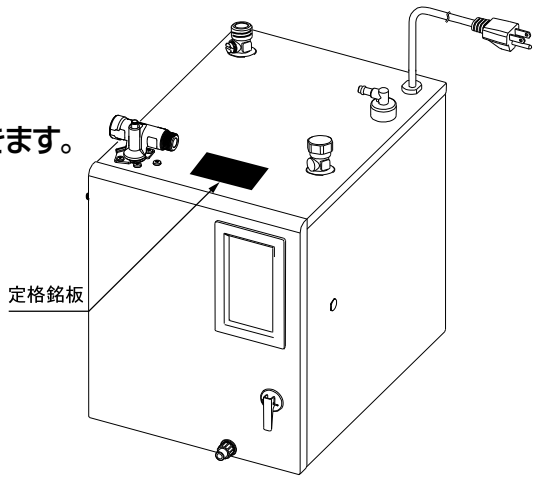
使用していて、故障ではないかと思われたら、16、17ページの「故障かなとおもったら」、「次のような場合は故障ではありません」を参照してください。

2.保証書をご覧ください

●本製品の保証期間はお取付日から2年間です。
●この取扱説明書の最後のページが保証書になっています。お取付日、取扱店名などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3.修理を依頼されるとき

＜保証期間中の修理＞
・修理に際しては、保証書をご提示ください。
・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
＜保証期間経過後の修理＞
・修理すれば使用できる商品については、有料にて修理させていただきます。
・修理料金は
「技術料」＋「出張料」＋「部品代」で構成されています。
＜連絡していただきたい内容＞
1 ご住所・ご氏名・電話番号
2 商品名・品番・取付年月日
（機器本体の定格銘板をご覧ください）
3 故障内容・異常の状況をできるだけ詳しく
4 訪問ご希望日・お宅までの道順



※お客さまからご連絡いただく氏名や住所等の個人情報は、 商品の点検修理にのみに利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、 弊社と同等の管理を行わせます。

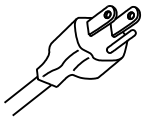
4.部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6年です。
この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.修理のご依頼は

お求めの販売店やお近くの水道工事店、または
LIXIL 修理受付センターまで
TEL 0120-179-411
受付時間9:00～19:00(365日受付)
FAX 0120-179-456
ホームページアドレスhttp://www.lixil.co.jp/support/

仕様

品番		EHPN-CA8ECS2	EHPN-CB8ECS2
外形寸法(突起部寸法含む)		幅242mm×奥行340mm×高さ337mm	
本体質量(満水時)		8kg(約16kg)	
給水方式		先止め式	
使用水圧		0.1MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)	
減圧弁設定圧力		0.08MPa	
逃し弁設定圧力		吹き始め 0.095MPa　吹き止り 0.087MPa以上	
電源コード・プラグ形状		有効長さ1.5m 	有効長さ1.5m
電気定格	電源電圧	AC100V(50/60Hz)	単相200V(50/60Hz)
	消費電力	1,100W	1,500W
タンク容量		約8L	
出湯温度		約36℃（温度範囲31～43℃）※1	
わきあげ時間		約30分（15→75℃）	約22分（15→75℃）
発熱体構造		シーズヒーター	
自動温度調節器		サーミスタ方式	
温度過昇防止器		バイメタル方式(手動復帰式)	
標準出湯量（※2）		約21L	
使用可能雰囲気温度		0～40℃(ただし凍結しないこと)	

※1： 出湯温度は変更できません。また出湯初期に温度が変化する場合があります。(43℃程度)
※2： 水温15℃、出湯温度36℃、使用流量4Lの条件下で一度に使用できるお湯の量です。

特定電気用品の適合性検査証明

本製品は、電気用品安全法第9条の規定に基づき、特定電気用品の適合性検査証明を受けています。

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：		**（品番：**	**）**
保証期間	**取付日より　2 ヶ年**	**取付日**	**年　月　日**
お客さま	**おなまえ** **おところ** **おでんわ** **（　　）　ー**	**様** **無効**	**取扱店** TEL（　　）　ー

お客さまへ
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1)用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化使用に伴う外観上の現像（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8)小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷
(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12)消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
(13)水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）
(14)凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16)ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17)指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合
(18)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(19)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

商品についてのお問い合わせはお客さま相談センターまで
TEL 0120-179-400
FAX 0120-197-430
受付時間　平日　9：00～18：00
土日・祝日　9：00～17：00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで
TEL 0120-179-411
FAX 0120-197-456
受付時間　9：00～19：00（365日受付）

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL 0120-179-400

FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

インターネット・ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

修理のご依頼は（本文の「アフターサービス」をお読みください）

お求めの販売店または

LIXIL 修理受付センターまで

■WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能

リクシル修理　検索

https://www.lixil.co.jp/support/

■お電話でも修理を承ります

TEL 0120-179-411

受付時間　9:00～19:00（365日受付）

FAX 0120-179-456

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

GEH-0140(21040)

プラ　梱包袋（本体、付属部品、取扱説明書、施工説明書）